

メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.278 2019.7.5

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」
6月30日(日曜日)放送「副議長・議会運営委員長インタビュー」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様様や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、先月30日(日曜日)に放送した「副議長・議会運営委員長インタビュー」の内容をお伝えします。



☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。≫

INDEX



県議会広報


こんにちは県議会です
「副議長・議会運営委員長インタビュー」

- 新井 豪副議長
- 齊藤邦明委員長



議事堂の花

生け花のご紹介


県議会広報
【こんにちは県議会です「副議長・議会運営委員長インタビュー」】
〈新井 豪 副議長〉

昭和50年生まれの43歳
 埼玉県議会自由民主党議員団所属
 北第1区 秩父市選出
 平成25年、県議会議員初当選（現在3期目）
 県土都市整備委員長、環境農林委員長などの要職を歴任
 今年5月、埼玉県議会副議長に就任

副議長 県民の皆さま、こんにちは。このたび副議長という大役を務めさせていただくことになりました新井豪です。大変光栄でありますとともに、その重責に身の引き締まる思いでございます。

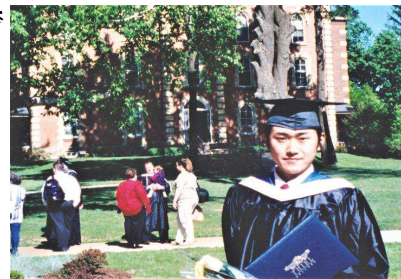
県議会の代表である議長を補佐するという重要な役割を担いますので、その責任をしっかりと自覚し、皆さまの負託に応えるべく、全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



新井 豪 副議長

—政治家を志したきっかけをお聞かせください。—

副議長 私はアメリカの大学を卒業したのですが、その留学生のとき、自分の生まれ育った国やふるさとを客観的に見つめる機会がありまして、「自分はなんて素晴らしい所で育ったんだ」ということを強く実感しました。自分を育ててくれた素晴らしい国やふるさとのために働きたい、そう思ったのが最初のきっかけですね。



—離れてみて初めて気付く「ふるさとの良さ」ってありますよね。—

副議長 そうですね。私が初めて地元の秩父市を離れたのは、齊藤邦明議会運営委員長と同じ熊谷西高校に進学した時なのですが、その高校の友人たちに、時には秩父は田舎だからかわれたり、時には秩父のお祭りのことをすごくうらやましいと思われたりしたこともありました。特に「秩父夜祭(ちちぶよまつり)」は埼玉県、日本を代表する祭りなのだ改めて実感したりして、その自分のふるさとへの誇り、良さを感じるようになりました。これが郷土愛が芽生えるきっかけでしたね。

—ふるさとへの愛着や誇りというのが副議長の政治家としての原動力になっているのでしょうか。—

副議長 そうですね。秩父人というだけでなく、埼玉県民として視野を広げますと、同じ県の中に秩父のような山や川など豊かな自然に囲まれた地域がある一方で、東京のような大都市もあります。いろいろな側面があって、非常に面白くて魅力のある県だなあ



秩父夜祭に参加する副議長

というふうに感じますね。

—留学のご経験の中で、ほかに感じられたことはありますか。—

副議長 留学中に大統領選挙があったのですが、大統領の当選が決まった数日後、公約がすぐに実行され、住民の生活にすぐに影響がありました。住民の生活環境が政治の力によってどんどん変わっていく現実を目の当たりにしまして非常に感銘を受けました。「政治は世の中を変える力がある」ということを実感した時に、本格的に政治家を目指そうと思いました。その後、30歳の時に市議会議員に立候補しまして、当選させていただいたのが政治家としてのスタートです。

—その後、県議会議員になられたのですね。—

副議長 自分の生まれ育った地域やこの埼玉県をもっと発展させたいという思いで6年前に県議会議員の補欠選挙に立候補して初当選し、今期で3期目となりました。本当に多くの皆さまのご支援に感謝しております。

—副議長はこれまでもさまざまなお仕事に取り組んでこられたと思いますが、議会の役割についてはどのようにお考えですか。—

副議長 私は、議会の役割として、県執行部をチェックすること、情報を発信すること、そして、政策を立案すること。大きく分けてこの三つがあると思っています。どれも大切な役割なのですが、特にわれわれ地方議員は、県民の皆さまの声を政策に反映させるということが最も重要であると考えております。

—これからの議会活動で力を入れていきたいことはいかがですか。—

副議長 急速な少子化が進む一方で、悲しいことに子どもが犠牲になる事件や事故が後を絶ちません。自然災害に目を向けても、集中豪雨や秩父も見舞われました豪雪災害、大規模な地震も頻発しております。今こそ、県政の課題に真摯(しんし)に向き合い、県民の皆さまの声に耳を傾けながら、議論を尽くしていかなければなりません。執行部とは良い緊張関係を保ちながら、議会としての役割を果たしていくことに尽力したいと思っています。

また、国政や市町村の政治・行政には興味があっても、県政にはなかなか関心を向けていただけないという側面もあると思うんですね。皆さんにもっと関心を持ってもらえるような情報発信ができればと思っています。

—ここからはプライベートについても伺っていきます。趣味というと、どのようなことが挙げられますか。—

副議長 特に神社巡りが好きですね。北海道から沖縄、また3,000メートルの山頂まで全国各地の神社を参拝しています。格式が高いとされる一の宮神社は約100社あるのですが、すべて参拝しました。神社・神道というのは本当に奥が深くて知れば知るほど面白いものです。神社検定の3級を持っているのですが、参拝にもいろいろと作法があって、以前参拝した時に「どこの神職の方ですか？」と声を掛けられたことがありまして、それが嬉しかったですね。



あと秩父市は、秩父神社と三峯神社という全国でも有名な神社が一つの市に二つある非常に珍しい所です。ぜひこれからも多くの人たちに秩父へ

参拝に来ていただきたいと思います。

—ぜひ行ってみたいです。ほかには何かありますか。—

副議長 趣味としては、ゴルフ、スキューバダイビングや乗馬もやります。高校の時は陸上をやっていました。今でもランニングはしています。最近は忙しくてなかなか時間がとれないのですが、趣味はたくさんありますね。

—大切にしていること、座右の銘は何かありますか。—

副議長 「実るほど頭を垂れる稲穂かな」。これをいつも心に秘めています。支えていただき、育ててくれた県民の皆さまあつての「今」である、という思いを常に持ちながら、どんな立場になっても、生涯を通じて謙虚な姿勢を持ち続けなければならないと思っています。

また、われわれ議員は、多くの人々の意見を政策に反映させるのが仕事なのですが、たとえ、たった一人でも困っている人がいれば、その人を助けるために全力を尽くすことが政治であると、私は肝に銘じています。

—今後の議会運営について、お考えをお聞かせください。—

副議長 私たち議会は、二元代表制の一翼を担っております。議会がその役割と責務をしっかりと果たすことができるよう、神尾議長のもと、公正かつ円滑な議会運営に取り組んで、県政のさらなる発展のために全力を尽くしたい、そう思っております。



[▲トップへ](#)

〈齊藤邦明 議会運営委員長〉

—はじめに自己紹介と、ごあいさつをお願いいたします。—

委員長 このたび、委員長を務めることになりました、北第3区 本庄市・神川町・上里町選出の、齊藤邦明と申します。

公正で、円滑な議会運営に取り組んでまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。



—議会運営委員会の役割についてはどのようにお考えでしょうか。—

委員長 本委員会の役割は、簡単に申し上げると議会全体を調整することにあります。県議会は、県民の代表として皆様の声を県政に反映させるという大きな使命を担っております。限られた時間の中でより活発な議論を行うため、本委員会での協議や調整がとても重要であると考えております。

—議会を円滑に進行するための調整役、ということですね。—

委員長 県議会には93名の議員がおります。これだけの人数がいる中で、

効率よくスムーズに本会議を進めるためには、事前の連絡・調整が欠かせません。

—6月17日から6月定例会が始まりましたが、議会運営委員会はいつ開かれたのでしょうか。—

委員長 まず最初に、開会前の6月10日に開かれました。

—どのようなことを話し合われたのですか。—

委員長 その日は、6月定例会の日程や質疑質問者の会派割り振りなどについて協議を行いました。定例会中には、意見書の取り扱いや採決の方法など、決定することが数多くありますので、開会後も、本会議の前や休憩時間中に何度か委員が集まって話し合いを行います。



—さまざまな事柄について協議されるのですね。—

委員長 知事や議員から提出された条例や予算などの議案、県民の皆さまから提案された請願などを、どの委員会に付託し審査すべきか、といったことについても協議いたします。

—最後に、委員長としての抱負と決意をお聞かせください。—

委員長 県議会では、県民の皆さまの生活に直接関わる数多くの議案を審議・決定しています。そのため、活発な議論を通して、県の施策をより良いものとしていくことが重要であると考えます。

繰り返しになりますが、議会の調整役として、公正で円滑な運営ができるよう、委員各位にご協力いただきながら、役割をしっかりと果たしてまいります。



[▲トップへ](#)

議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。
【協力 埼玉県いけばな連合会】

展示期間：
6月24日
～6月28日
作者：
千勝古流
石井康做様
花材：ヒメライ
デン、キキョ



ウ、ユリ(スイートメモリーズ)

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈千勝古流 石井康敏様〉

Q: 作品のイメージを教えてください。

A: 「初夏」を感じさせるような新緑がまぶしいヒメライデン(姫雷電)に、淡いピンク色のユリと紫色のキキョウを合わせました。緑色に対してそれぞれの色がより一層映えるように意識し、合わせる花材の種類を絞りました。また、細い枝ぶりですっきりした作品から、初夏のどこか涼しげな一面も感じてもらえたらと思います。

Q: 花器へのこだわりを教えてください。

A: 広い議事堂ホールに合わせて大きく生けたかったので、花材を支えられるように高さがある形のものを選びました。淡い水色の花器は、初夏に合い、作品全体の色合いのバランスを保ちつつ、涼しさを感じさせてくれます。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。≫

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●「[メールマガジン埼玉県議会](#)」の登録・解除は[こちらから](#) 》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

© 2008 Saitama Prefecture All Rights Reserved. 無断転載を禁じます。

